愛國婦人會機關

愛國婦人

愛國婦人會の目的は軍人の遺族及癈兵を救護するにあり

毎月五日二十日發行

一部參錢　一ヶ月金六錢　半年分參拾六錢　全國無遞送料
廣告料一行四拾錢
本號全部禁轉載
東京麹町區（牛ヶ淵公園）
發行所　愛國婦人發行所
發行兼印刷人　山澤俊夫
編輯人　手島益雄

社説

◎旅行（二）

嗚呼旅は良いもの面白いものなり。旅行の愉快を知らざるものは、憐れなるかな。獨り怪む、我が國人の旅行嫌ひなるを。ことに婦人に至りては、足跡たゞ屋内に普くして、一寸先きの世間を知らざるが常なり。随て身體羸弱にして、困難に堪ふること能はず、識見また狹小にして、井蛙の境を出てす、氣宇宏濶ならずして、徒らに瑣末のことに業を沸やせるは、誠に氣の毒の至りなり。而して其之を直す偏強の一手段は、醫者にあらず、藥にあらず、旅行にあり天然は活ける書籍にして、世間は活ける歴史なり。旅行は印刷物と机と腰掛の與ふる能はざる或物を與ふるものなり。獨逸の詩聖ゲーテは曰く、余は書籍に由て學ぶ能はざりしものを、旅行に由て學べりと。昔より偉人豪傑の四方を遊歴せる者多き、故なきにあらず。彼等は遊歴せざるも、人物たりしならん、然れども遊歴がまた彼等を人物たらしむるの動機を與へ、刺激を與へたること大なりしを疑ふ能はず。旅行は獨り知識のみならず、身體を鍛へ、困難に耐て、意志を堅くし、膽力を練らしむるものなり。諺にも可愛い子には旅をさせよとあり。子に爲めとなるもの、豈また自らの爲めとならざらんや。可愛い息子や娘を有する親は、彼等に旅をなさしむると共に、自らもまた旅せざるべからず。而して目下は年中旅行の最好時期なり。學校なき夏の長き休暇を如何に暮らすべきかは、大事なる問題なり。讀者には必ず己れの子女に對して、此問題を有せらるゝもの多かるべし。十度許り夏休暇を繰り返したる自己の經驗によれば、旅行が一番よき様なり。夏休暇には一つ語學を勉強せん、これだけのものを讀まんと慾張りて、澤山の書籍を持ちかへるも、歸へれば、奇妙に惰氣を生じて、其四分の一も讀めず、お取置の御馳走を食べ過ぎて、腸胃は惡くなるし、朝寝はする、内に安閑として碌なことはなし。則ち學校の始まる頃には、惰氣骨髓に浸み渡りて、往々別人の如くなりて歸ることあり。これでは何の休暇か主意がたゝず。休暇中は早く起き、規律正しき習慣を付けて働くべしと、口での訓誡は容易なれど、實際はさう行くものにあらず。之に反して旅行は人に活動を餘儀なくするものなり、旅行する間は惰けんとしても惰けることを許さず、勢ひ元氣を養ひ、身體を強健ならしむ。故に父母たるものは、日頃旅行の費用を節約し置きて、子の歸り來らば、無暗に内に止め置かずして旅行せしむべし、自分等も共に旅行するは、最も妙なり。而して娘は内に歸らば、母の手傳をして、家事を見習ひ、弟妹の世話をして、他日妻たり母たるの豫習をなすこと、最も必要なれども、出來ることなら旅行もまたなさしむべし。或は娘の旅は心元なしといふ人あらん、尤ものことなり。然れども西洋にては娘の旅行は決して珍らしからず、彼地にては娘の旅行に對する汽車中の保護、宿屋の世話などよく行届き居りて、大層都合よけれど、我が國にては其手配り充分届かず、届いては居らねど、旅行には差支なきなり。近くば本年四月加納子爵は十五歳を頭に四人の令孃を、伴をも附けずに、四日間千葉縣下一の宮より大原方面東海岸の各地を旅行せしめられたり。其方法は、令孃各自に旅費を與へ、長女其出納を管し、旅行日記は順持として、汽車は三等、其他すべて之に準じて質素に、四日間の旅を、面白く有益にして歸られたりと。短日子とはいへ、兎に角我家とは山家迥けき旅寝して、見ず知らずの人に接し、獨立の生活をなし、經濟上の經驗をも得、又觀察注意の習慣を付けしむる等、確かに効能ありしを疑はず。されば子爵には來年また他の地方に令孃を旅行せしめらるゝの豫定なりと（令息の旅行は勿論）。我等は是れがやがて模範となりて、全國に娘の旅行を見んことを望むものなり。これが日本なればこそ珍らしけれ、西洋にては珍らしくも何ともなし。我が國も早く斯くなりて欲しきものなり。

アリス、ルーズヴエルト孃

今回比律賓行の途次吾國に立寄られたる米國大統領の令孃アリス、ルーズヴエルト孃はオ色双絶の貴女として米國の交際場裡に其名高し歸途觀光の爲め再び吾國に來るべしと云ふ

◎人生と夏

夏を人生に譬ふれば、夏は壯年なり。其元氣旺盛、熱狂的にして意志の強き所は、夏の思切て暑く、時に雷雨俄に到りて、世界を怒鳴りまわし。電光一閃觸るゝ所皆裂くるが如し。而して驟雨一たび去れば天空澄徹、氣象快濶、恰も達人の胸裡玲瓏一點の塵埃を止めざるが如し。

◎出征軍人

內地の暑きにつけても、先思はるゝは同胞數十萬の出征軍人のことなり。浴衣に團扇て風通りよき所に居てさへ暑いとこぼすに、內地よりも遙に酷しき滿洲大陸の炎暑にいりつけられて、風通しあしく、團扇も役たゞず、汗の拭き様もなき緊密なる洋服を着て居るといふことの、如何に苦しきものなるかは、實驗者でなくては分らぬなり。「夕涼よくも男に生れけり」とは、浴衣着の腕まくりて、床几に箕踞かき得る男の果報を喜べる句なれども、帽子、靴、洋服の夕涼で、何のよくも男に生けりならんや。我等は夏の出征軍人に對して同情を禁ずる能はず。

◎游泳

海水浴の婦人客を見るに、何處でも皆濱邊の砂に手をついて足をぼちやくいはすか、腰迄位の水中に屈み、波が來れば大騷動して逃げ、船が少し搖れば、大聲あげて助けを呼ぶさま、これが大海軍を有する四方海なる日本國の婦人かと思へば情なし。同盟國婦人の手前もあり、少しは泳いて貰いたきものなり。英國には游泳を奬勵し、游泳競爭をなし、游泳の出來ねば漕艇を許さゞる女學校あり、婦人にして游泳の免許狀を有するもの澤山あり。磯端のぼちやくもあれど、魚の如く泳ぐ婦人も少なからず、是れてこそ海國の婦人なれ。或は言ふ人あらん。私は海水浴に來たので、泳ぎに來たのにあらずと。されど海水浴に來たとて、泳いてならぬ理由も禁制もなきことなれば、其容赦は無用のことなり。要するに、今少し多數の婦人が海邊に出掛けて、活きた海水浴がして貰ひたきなり。

◎ルーズヴエルト孃

此程來朝せられし米國大統領の令孃は、才色双絶の淑女として、米國は勿論、歐洲にも喧傳せらるゝ婦人なりといふ。しかれども才色に於ては、我が國婦人にも、否新橋出迎の婦人にも、敢て一歩を令孃に輸せざるものあるを信ず。たゞ今の所如何してもかなはぬは、其身體なり、運動家としての令孃なり。此間英國の婦人體育雜誌は、表紙に令孃の肖像を掲げ、中に運動家としての令孃を紹介せり。馬にも乘れば、ベースボールもする、運動といふ運動はやりて、それがまた一通りならず上手なりといふに至りては、新橋出迎の婦人は扨て置き、日本國を金の草鞋で探しても、先づは見當らざるべし。通例の歡迎や饗宴には飽きたり、それよりは、暫く運動せざる故、乘馬のお相手が願ひたし、テニスが致したしと、令孃よりの頼みありしとせよ。愛國婦人會員中我こそはと誰れが名乘りて出るものぞ。たゞ盛裝せる花の如き令孃を見て、其溢るゝ計りの勢力を藏し、敏活にして彈力ある、良く發達せる身體に心付かざるものは、未だ眞の令孃を知らざるものといふべし。運動はせざるべからず、よく運動して、身體を鍛へ置くべし、これ單り他の令孃の萬一の申出に應ずるの準備のみといはんや。

電話番町五百二十番

本號には附錄として米國の佳賓アリス　ルーズヴエルト孃に贈呈の花束并に本會々長公爵夫人岩倉久子氏の手簡を添ふ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎戰時の女學生

山脇房子

女子は戰時なりとて劍銃を提げて戰場に臨むことは難うございますけれども、心には束の間も戰場に萬難を凌いで戰つて居らるゝ軍人方の事を忘れてはなりません、されば女子は女子としての本分を勵み、己れの責任を全うすることを勉めなければなりませぬ、凡そ國民が男子は男子、女子は女子、官吏は官吏、商人は商人、農夫は農夫、學生は學生、各其本分をよく盡しさへすれば其國は自ら榮ゆるわけでございます。

されば女學生もその本分を全うせんにはまづ平時に於ては八分丈勉強せし身も戰時に於ては十分も十二分も勉強しなければならぬ理窟でございます、然るに平常は大抵朝八時位から午後三時迄位は毎日學校に參りますから、其前後に於て家事の見習等致しますことは誠に少時間であり、且つ學生によりては學科の復習を名として家事を手傳ふことを好みませんから、卒業後と雖も家事に迂遠なること驚くばかりでございます、斯る女子は名のみは女子であつても女子らしき言行に乏しく、從て家庭に於ては缺點のみでございます、其結果として今の時勢に於てすら女子に高等の敎育は不必要など申す人さへございまするは、實に嘆はしき至りと存じます

されば女子にして己れの本分を盡さんために高等敎育を受けんと欲するものは、先づ第一に前述の謬見を解除することに勉めなければなりますまい、即ち平常に於ては勿論のことでございますが、此夏期休業をよき折として是れまで學校に於て習得せし學科を實地に應用し、家人をして成程敎育を受けし効はかくもあるものかと事々物々に感服せしむる樣に日夜に勉めていたゞきたい、若し皆樣が此心得を以て學んだ學科を實行なさいましたならば、前に述べました女子に高等敎育は不必要なりなど申しました人々をして大に悟らしむるのみならず、益々女子敎育の必要を感じて參りまして、女子敎育の發達上益することが少からざることゝぞんじます

尚ほ今一つ戰時の夏期休業に於て特別に毎日勉めて研究していたゞきたいと思ひますことは、今度の日露戰爭は申すまでもなく莫大の人命と巨額の資金とを費しましたけれども、其代り國民全般の智識の進みましたことは如何ばかりか知れません、假令て申しますれば旅順浦鹽は何處にあるもの奉天ハルビンは如何なる處か、支那人は何云ふ氣性で露西亞人は何云ふ性質であるかと申すことや、又我國の地位にしても津輕海峽は何云ふ處で日本海は今度大捷を博した處であるとか、何師團は何處にあつて幾聯隊あると申すこと迄も車夫や裏居のものに至るまでも感心するほどよく存じて居ります、かく人智が進んで參りますればそれだけ今後高等敎育を受けんとする人々は、是非とも古來我國が外國に對して如何なる關係を有せしかと申すことを一通り心得て居なければならぬ筈と考へます

極手短かに申せば、神代の昔より既に韓國とは交通が開けて居て、崇神天皇の朝に韓國半島南部の一邦なる任那より國使來朝し、日本帝國の力に依りて其邦土を維持したしと奏上しました位で、此頃より我勢力が漸々韓國半島に樹立され、それから神功皇后の三韓征伐に依ていよいよ朝鮮海峽の權を掌握することゝなりました、けれども天智天皇の即位前七年に韓國半島に於て唐國と衝突し、彼れの艦隊の爲に大打擊を蒙りましたゝめに折角一時掌握した權をも拋棄して仕舞ひまして、一意內國の沿岸に防禦を施すことにのみ勉むるやうになりました、然るに彼の有名なる弘安四年の大捷によつて再び進取の氣象勃興し、朝鮮支那は固より安南ヒリツピン群島迄も侵略して彼地此地に殖民地を起しまして外國との交通が頻る繁劇となるに至りましたが、惜いことには其後豐臣秀吉が國內を平定しましてからは國民の海外侵略を嚴禁し、德川家康の時代になりましては外敎の傳播及金銀の外國へ流出するを防がんとして鎖國主義を斷行致しました結果、彼の樺太に對する露國の橫暴を制止することすら出來ず、遂に千島群島と交換せねばならぬ不幸を見ましたこと等を、歷史によつて委しく攻究し置くことは此際實に興味もあり且つ必要なることゝ存じます

◎戰地十分談片

●旅順口鎭守府司令長官 柴山矢八氏　旅行は道理以外に利益があるもので諺に可愛い子には旅をさせと云ふのは寔に金言であると思ふ日本の婦人は旅行をするのを大層おツくうに思ふが西洋の婦人は簡單に旅行し成べく實地に就て智識を擴めることをつとめて居ること旅順港などは婦人が最も多く來て見て子供の敎育の資料に供さねばならぬ土地である旅順へ來ることは東京から熊本へ行くよりも容易である海の危險もなく陸の障害もなく千人やそこら來たとて宿舍に不自由なこともなく日本の米も食へれば鯛も食へ水も淸くして暑さも酷くはないから何うか愛國婦人會の評議員なり幹事の方は今のうちに來港されんことを希望する

●關東州民政長官 石塚英藏氏　占領地に段々と民政を布く上に就て最も必要なる事は駐在の文武官が家族的生活を營むことである元來日本人は娛樂の少ない方で多數の人と共同して遊び故國に在ると同一の愉快を以て外で働らくと云ふことが甚だ乏しくて倶樂部を組織してもなか〳〵都合好く往かぬ故に殖民をするには家族同伴でなければ成功せぬダルニーや旅順は臺灣や北海道とは違つて內地より近くはあるし生活も容易に出來氣候も東京よりは善良である故に大ひに殖民を獎勵せねばならぬが唯今では建家が不充分で高等官のものでも部屋を割つて住んで居る有樣であるから今日では文武官と雖も婦人の同伴を許さぬが漸々には渡來せしめねばならぬことゝ信じます

●海軍大佐 坂本一氏　パーヤンガ浮上つたのは全く職工が能く働いた爲めであります是れに從事した職工は金錢も名譽も念頭に置かず唯だ自己の職分を全ふし國家の爲に働くと云ふ大責任の下に是れを引揚げたのであります着手より引揚げまで僅かに一ケ月しか掛りませんでした尙ほ此外に戰鬪艦三隻と巡洋艦一隻とが沈んで居りますが是れも皆な引揚げに着手して居りますから九月頃までには悉皆引揚げ終る積りであります最初は是等の艦船を擊ち沈めるのに苦心しましたが今は是れを浮上げるに苦心することになりました併し是れは國家の爲に慶賀すべきことであります私は元來婦人に海事思想を注入せねば海軍は發達せぬと云ふ意見で婦人が讀むやうな小說を書かして見たこともありましたが凱戰の際觀艦式等があつた節は婦人も是れに臨まれ大に海事思想を養成されんことを希望します

●河內丸事務長 杉本弟五郎氏　避暑旅行をされるには船に乘つて日本海を周遊するなどが樂みの最も大なるものと思ひます波羅的艦隊が擊たれて影を失して仕舞つたし海上は安全で東京から朝鮮あたりまで行くのは北海道へ行くよりも容易であります殊には船は陸地を放れて社會の五月蠅い出來事に接することなく世を放れて海の上の人となるので平生多忙の人でも船の中まで電話をかける人もありませんから最も安樂にして平穩なる日を送る事が出來十分の休息をなし得られます殊に空氣は好し身體の上にも保養が出來て一擧兩得かと思ひます

●評議員 廣岡淺子氏　凡そ世の中に於て金錢を能く集め得るの能力を供へて居る人間は何事をさせても必ず成効すべき人であると私は思ひます事業の困難なる內で金錢を集め得ると云ふこと程困難なものはありませんが敎育家と事業家とは異なると申しますが事業家たる能力なくば敎育家たるの資格もありませんまた仕事に對する着眼點が現在に於て其の効果を見んと思ふは最も小さな考へであつて私共の計畫して居る事柄は一つとして現代に於て成果を見やうと思ふものはありません次代三代と其の意思を繼續せしめて始めて全きを得るのであります

◎滿洲遊說雜話

手島益雄

●地藏の像流し　船は門司を發して日本海に出た天涯茫々水天髣髴たる間より現はれて來たのは沖の島である此邊は常陸丸が怨を吞んで敵に擊沈された所で又た其の前が大海戰のあつた所であると聞くや奥村刀自は操て岩佐評議員より託されたる地藏の像を壹萬枚取り出し一枚づゝ念佛を唱へて海へ流し始めた

●御經讀誦　多くの航海者が此所を通つたであらうが未だ佛に祈禱をしたものはあるまい刀自は地藏の像を流し終るや々用意の鐘を鳴らし御經を唱へ熱情を籠めて弔ひを始めた鐘の音は細しとも海の底まで達するかの如く御經は靈魂の來つて是れを享くるかの如く覺へられた刀自の顏には數行の熱淚が流れて居るが刀自は敢て是れを拭ふともせず尙ほ一生懸命であるア、血の如き淚がポトリ〳〵と海の上に落ちる戰死者も定めし冥したことであらうと思はれた

●刀自の歌　巨文島附近を通過したのは七月五日の朝であつたが風波高く船動搖し殊に濃霧一面にかゝつて數丁の先も見へ分かぬ一分間毎に汽笛を鳴らして警戒更らに怠りないのである刀自の歌に

往く船も歸れる船も霧の中
只ういするの聲のみぞ聞く

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

小說

紀念の寫生

江戸靜川

『血腥い滿洲の野と違つて實に佳い景色だなア、僕は再び斯ンな風景に接しやうとは期して居らなんだのだが、死に損なつたお蔭で君や初枝さんとも斯うして話も出來るし、斯ンな佳い風景も見られるし、出征當時の事を思ふと何んだか斯う君等に對して面目ないやうな氣もするが、また嬉しいやうな氣もするのだ』と、こゝ眞間は弘法寺の樓門を少し横へ、見晴らしよき掛茶屋の緋毛氈の上に胡座を搔いて、對手の青年に話しかけて居るのは薄田と云ふ少尉で、奉天の戰ひに右腕と其の肩に二ヶ所の敵彈を受けて後送され、暫らく備豫病院に居たが今では餘程快くなつたと云ふので、其の手は繃帶をしてまだ頸に釣つては居るが、今日は親友の香川兄妹に連れられて此所へ遊びに來たのである、『何にが面目ない事があるものか、死に損ないと云ふ事があるものか、軍人は戰場で死ぬる許りが能ぢやない、戰ひに臨むでは命は鴻毛よりも輕く、屍を馬革に裹む、是れ丈夫の魂、と云ふ覺悟さへあれば可いのだ、戰死したから功がある、戰死しないで負傷したから功がないと云ふ、什麽理窟はない』、『イヤまた君のお株が始まつた』、『お株ぢやない眞實の所だ、君、負傷したから面目ないなんて弱い心を出して呉れちやいかんよ、戰爭に行つて負傷するのが面目ないと云つて居た日にや戰爭は出來やしない、戰場には砲あり、銃あり、劍あり、何うしてこの運命を免がれる事が出來やうか』、『分つた〱モウ澤山だ、鳥渡した事でも直ぐ君は眞面目になる、迂濶り口を利かりやしない』、『其の迂濶り出來ぬ男と斯うして筒井筒、振分け髮の何んとやら云ふ時代から仲のいゝのは不思議ぢやないか』、『不思議と云へば初枝さんは何うした、此方許りでお喋舌をして居るもんだから何時の間にやら雲隱れをして仕舞つたぜ、何所へ行つたのだらう』、『ナニ其邊でまた下手なペンキ屋の手間取りみたいに塗り附けて居るのであらう』、『だから君の前では迂濶り口を利かれないと云ふのだ、直ぐ夫れだもの』、『デモ君聞き給へ、先月だッたか何んでも學校の手間取り仲間が四五人で江ノ島へ

寫生に行つたのだ、すると歸つて來て兄さん私は月夜の江ノ島を寫生して來たから見て呉れと云ふのだ、夜景を寫生したとは豪い腕だと云つて取上げて見ると驚いたね、成程月は一輪鮮かに出て居るが、浪に落ちて映つた島影や帆影が眞物か、眞物が影か分らない、餘りの手際だから是れは何方が上になるのか、空も水も同じ色で判分が出來ないと云ふと、其の答へが面白いや、水天髣髴青一髮だッて』、『ハヽヽ、一本參つたな』、『是れには僕も閉口したさ』、『一體君には美術を見るの眼が無いのだ』、『是れは酷い攻擊だ』、『彼の書なら僕も今朝出掛けに見せて貰つたが立派なものだ、何うして餘程の天才でなくては彼れ丈けには書けない』、『君のやうにさう褒めちや不可い』、『お世辭でなけりや宜からう』、『だッて僕が見ちや何うしてもペンキ書だ』と云ふ時彼方の木蔭、綠滴たる其の下から、突然起る優しい聲『よくッてよ兄さん、たんと仰しやい』。

聲する方を顧ると、初枝は三脚に腰を卸して畫板に對ひ、頻りと筆を奔らせて居る、近くは眞間一帶の茅舍村落、市川の渡し今は見る影も止めざれど、新たに架したる長橋に人の往來の絶へては續く面白さ、見渡せば霞がくれに都大路の甍一線を劃して、空に聳ゆる淺草寺の五重の塔、凌雲閣、偖ては行德あたり、河身は見へず田と畑の間を縫ふて利根川登る眞帆片帆、何れか絶好の畫題ならざる、初枝は何にを寫して居るのであらう。

*　*　*　*

其後初枝は毎日學校から歸へると日課のやうにして、曩の日の寫生に筆を加へて一向專念、二週間餘を費して漸く出來上つた所へ薄田少尉が退院をしたと云つて訪ねて來たので、是れは貴郎が名譽の負傷をなすつた紀念にと思つて書いて見たのですがと差出すのを見ると、白布で右手を頸に釣つた薄田と兄の香川が掛茶屋で愉快さうに語り合つて居る樣、動ぎも出さん許りに巧みに畫いた入神の筆致、貶す事の好きな兄も流石に是れには批點を打ち得なかつた。

妙技神に入るとの嘆美の聲は、再三薄田の口から發せられて、初枝は一代の畫匠が帝王の賞讃に與つたよりも嬉しく、其の畫の脇に「一月日香川初枝寫す」と書き添へて――。（完）

◎新田妙印尼

須藤求馬

新田妙印尼籠城の事を記さんに、小田原北條家の諸士、新田金山の城を圍むこと急なり、城中日々に兵氣おとろへ、寄手の陣には日々に兵加はり、兵氣ふるふべきに、存じの外に氣闇々として、ふるはず、由良の老母即ち妙印尼士卒を勇めて、朝ごとに陣々を巡見すること風雨にも怠ることなし、一朝大津勘兵衞が馬の草とりに城外に出づるを見て、汝寄手の陣を一あてあてゝ見よ、必ず手柄あらんと下知せしかば、大津やがて草とりのふりして、六七騎を從へて寄手の陣の前を通るとき、誰とは知らず采幣を臂にかけたる士大津を見て、逃さじと馳せ向ふ、大津も心得たりと云ふまゝに、大音あげ新田の大津某一番槍と名のりて兩三合戰ふて、遂に突き伏せ首を取り、采幣と具足を分捕て金山に引き返せば、妙印尼これを見、守袋を開きて一々に實撿あれば、乘道の契約の文あり、さてこそ中條出羽守とは知れたれ、時に妙印尼申されつるは、是れみられよ、中條は小田原の侍大將なるに、陣中と云ひ、かゝる不行儀なれば、故もなき小路軍に命を殞せしぞかし、さては餘の大將たちも推量されたり、道理こそ兵氣の振はざりつれ、あなかしこ、味方の諸士はこれに怖れよや、と聲ふりたてゝ教訓せられけりとぞ、陣中兵氣の振否は勝敗の由て岐るゝ所なり、軍紀の振肅、誠に愼まずんばあるべからず。

◎看護婦となれる女皇（上）

半夏生

鐵の如く誠實なる精神、限りなき忍耐、公平無私親切の基礎たるべき溫和、患者が己れの要求を言はざる前に、早くも其欲する處を看取する特殊の性質等、あらゆる美德は英國エドワード皇帝が病床に臥せられし時に、アレキサンドラ女皇より受けられたる看護の有樣なり。

丁抹國王の娘は總て良き看護婦なりと、天然看護に適じたる傾向及經驗は、此等の王女をして病室に於けるあらゆる要求を果すに於て、普通の看護婦以上に熟達せしめたり、其娘の一人なる英國のカンバーランド公爵夫人は其男兒を腹部切開術を受けたる後に失はれたるが、此の貴夫人も亦英后と同じく熟達せる看護婦にして、看護事業の細事に就ては非常に興味を有し居れり。

アレキサンドラ皇后（丁抹國王の女）は、看護法に就て永き間熱心に見習生として務めたりき、一八七一年に時の英國太子今のエドワード皇帝が腸扶窒斯に罹られし時には、英后は未だ初歩の看護婦たりしなり、然れども其危急なる時機に際して后は熟練にして手段及撓まざる熱心に富み、既に危機を脫して保養旅行に出てられし時、途すがら英皇を扶け導かれたるは此の人なりしなり、又其長男のインフルエンザに惱まされたる時、母なる英后は失望すべき狀態を見て夜も晝も心中に非常なる苦痛を感じ居たるも、之れを顏色に現はす事なく、其終に再び歸り來らざる永き旅路に上りたる時まで、常に病惱を慰め希望及奬勵の愛に富みたる言葉と以てさゝやかれたり、故に英國に於ては一人の看護婦も己れの模範として皇后を尊敬し愛せざるものなし、而して皇后は時々看護婦連をマールボーロー館に招待する事ありて、其都度此事業に對する敬愛の意を表せらるゝとぞ。

◉秩父能仁寺墓參旅行の道すがらよめる　中山幸子

見渡せは野にも山にも桑うゑて
　御國のためにつくす人々
賤か屋を見れは思のまさりけり
　この里よりも出てしますらを

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎奥村刀自の一行は去る三日午前十一時五十分無事安東縣に着す

家政

◎玩具の輸出

久津見蕨村

◉子供の玩具と一口に申して仕舞へば何んでもないやうでございますが、國に依りまして其玩具がいろ〳〵違つてをります。其違ひが自づから其國民の性質を現はしてをるやうに想はれます。

◉西洋の玩具は概して何の國のも皆自働的のものが多くあります。例令へば一寸した人形でも、横臥にしますと自づと眼を閉ぢまして、直立ますとパッチリ眼を開きますやうに出來てをります。

◉併し其自働的に出來てをる中で、國に依りまして自から違ひが生じてをります。例令へば佛國の玩具は概して華麗精巧で又贅澤でありまして、隨て高價のが多いやうでございますが、獨逸のは眞摯で堅固でそして何れも教育的で又比較的にお安いやうでございます。

◉之は佛國民の華奢風流と獨逸人民の質實堅固とが自から此子供の玩具に現はれてをるものと考へられます。そこで此二國の玩具は何れも外國へ輸出されますが、其輸出先は重に今日我敵國となつてをります露國であります。

◉夫れで其安く手丈夫て、そして教育的な獨逸の玩具は露國の中以下の人民に需用せらるゝのださうでございます。又其高價で華麗精巧贅澤な佛國の玩具は、矢張り露國の上流社會に需用せられるのださうでございます。

◉我國の玩具の中でも、長崎あたりで出來ます鼈甲細工の精巧な贅澤なものは、戰爭前までは盛んに露國へ輸出されたものださうです。而して之れは皆同國の上流社會の家庭へまゐつたのだと申します。それから大坂邊で造ります安い粗造な玩具は亦神戸から支那朝鮮へ輸出されるさうでございます。

◉て熟ら考へて見ますに、露國の上流社會は全く腐敗してをります。支那朝鮮の人民は亦未だ覺醒して居りませんで、實に嘆かはしい有樣であります。して見ますと腐敗した社會へは贅澤な玩具が這入まして、無智な未開な所へは粗造な玩具が往くと定まつてをるやうでございます。之は腐敗してをるから贅澤華奢な玩具を需めるのですか、それとも贅澤華奢な玩具が其家庭を腐敗させる一助となつたのですか、何れかは俄に斷定しにくいことですが、兎に角玩具の選擇も亦國民の興亡得失に大關係があると云ふこと丈は明でございます。

◎海水浴について

追々暑さ嚴しくなり海濱の風涼しき邊に遊びて潮浴に心身を養はんとする人多かるべく之に就て注意すべき事どもを少しく記すも無用の業てはあるまい。

◉海水浴に適する人は腺病質の小兒、神經痛を病む人、頭の半分痛む人、月經不足がちの婦人、腦病患者等てある。其中ても腺病質即ち瘰癧の出來る子供は何しても入浴させねばならぬといつて宜しい。此病は打捨て置くと成長後大概結核性の病氣を煩ふもので、子供の時に十分注意して全治さしておかねばならぬが夫れには海水浴が一番よいのである。

◉海水浴に適せぬ人は幼少なる小兒、老人、身體の弱い人、神經の過敏な人、子宮病の人、レウマチス、痛風などて、關節などの痛む人、肝臟病の人、姙娠中の婦人等で、是等の人は何れも海水溫浴が適當してをる。大抵以上の如く別つとが出來るが、人々の體の具合て又適否があるから、先醫者に診察してもらうて、其指圖に從ふが一番安全てある。

◉海水浴の時期は吾國では大抵七八九の三月であるが、浴場の設備が整頓して、浴する人が多血質の人であれば、六月頃から九月後迄でも差支はない。入浴の日數は普通三四週間が最も適當て、一日の中入浴に適した時刻は、頑壯な人て午前七時前後、午後六七時前後である。若し貧血の人ならば、海水の暖まつた午後四時頃が最も適當てある。入浴時間は一回三分間から五分間、長くとも十分間を超えてはならぬ。浴後の頭痛、內臟の充血などは、凡て過度の入浴の結果である。

◉入浴についての注意　先づ入浴前に酒燒酎といふ樣な興奮劑を用ゐてはならぬ。又空腹の時と食後直に入浴するとは嚴禁せねばならぬ、食後は少くも一時間たゝねばよろしくない。又體が非常に熱して汗の多い時には必ず體を冷やして後にせねばならぬ。又婦人は月經のある時には入浴してはいけない。心臟病者は心臟痲痺て溺死するとがあるから、游泳しないで、淺瀨てポチャ〳〵やるがよろしい。肺結核患者なども、海水を手拭に浸して體を拭くか、又は潮風呂にして入浴する方がよろしい。

◎女子旅行者の心得

女子に旅行の必要なることは本紙前號より引續き掲げある社說に於て盡したれば改めてこゝに諄々しく其要を陳べざれども旅行は獨立心を養ふ上に於ても經濟の道を覺ゆる上に於てもこの位ゐ効果のあるものはないのである子爵加納久宜氏はこの目的を以て十五歳を頭に四人の令孃を此程千葉縣へ旅行させられた華族の令孃と云へば深窓の下に許りあるものと思ふて居る人達は奇異の思ひをするであらうが文明國の女子は斯くして意久地のない子女を造り出ださぬやう善良なる教育の母とならねばならぬのてある就ては一般の女子も斯樣な目的の下に進んで旅行をするやうに仕度い倘ほ其の父兄も娘の高歩きは能くないなど、云ふ舊時代の思想を去つて成べく女子を旅行させることに勉められたい今加納子が令孃達の出發に際して與へられた訓示を紹介すれば

一、旅行と散步と取違へること勿れ
二、途中の事物に留意して各自の所感を手帳に記し歸宅後是れを演說するの資料となせよ
三、四人バラ〳〵になりて行く可らず旅中は殊に仲能して互ひに忘れ物などせぬやう氣を附合ふべし
四、汽車の停まる驛々に注意し且つ乘降の地點を誤ること勿れ
五、勝手に買物を爲すこと勿れ
六、旅中の經費は各自手帳に書き留め計算の間違ひなき樣注意すべし
七、宿屋に着きたる後外出する時は荷物を宿屋に托し四人一緒に出掛くべし又入浴の時は二人宛交代すべし
八、途中萬一道に迷ひ又は當惑すること出來たならば巡査を尋ねて保護を乞ふべし若し見當らざる時は風俗の賤しからざる年寄に依賴すべし

と云ふのである更らにまた子爵は名刺の右側に「子女四人獨立旅行習修の爲め貴地方面へ差遣致し候に付萬一途中に於て不意の出來事に遭遇候はゞ何卒相當の御保護被成下度候」と書いて各一枚宛を携帶せしめられた其の用意の周到なる些の遺憾なしてある。

◎河内丸の船室及び其臺所

（手島益雄手記）

◉船室の構造　船の室程巧に善く調ふて居るものはない船の室に依て家を建たならば僅の坪の內で十分なる家庭的生活を營む事が出來るてあらうと思はれる

◉四疊の室　自分等の乘込んだのは上等室であるが四疊の室が八疊にも適用されるやうに作つてある其次第は寢床が三ツついてあつて五人位ゐは自由に寢る事が出來る寢床の下には衣服等を納れる抽斗がついて居る

◉鏡臺の設備　鏡が備へてある其下には水呑が置てあつて又其下が抽斗てある更らに其下部は洗面所になつて錠前を外すと洗面器が顯はれ栓を上げると水が湧いて出る之を疊めば同時に水は下に捨たるやう出來て居る

◉卓子と椅子　疊めば板の如く薄くなり組めば卓子椅子となる仕組のものが備へ付けてある室の上には電燈が備付けて栓を引けば明るくも暗くもなる上部には電氣仕掛の風送器が備へてあつて冬には下に湯が通うやうになつて居る二つの窓は自由に新鮮の空氣を流通させて居るボーイを呼ぶ爲には鈴が備へてあつて帽子等をかける爲には七個の帽子かけがある要するに小くてさうして廣い家である

◉臺所　三千人の乘客を養ふに足るとの臺所であるから最も大きなものであらふと思ふて態々料理頭の案內で見に行つたが臺所は最も狹い場所であるが然しよく調ふて居る第一衞生が嚴重で一日に二度船長事務長が監督に廻ると云ふ事てある故に料理の跡は喞筒で水を流して必ず洗ふ

◉水と湯　臺所で一番見る可き主要の點は水の手と湯の手とてある船は流石にそこがよく調ふて自由自在に出來て居る下水と云ふ處は大海であるからこれ程大きな且つ清潔な下水場はない

◉釜とストーブ　一度に三石位ゐ焚出しの出來る釜が四個も備へ付けてある西洋料理用のストーブが三個ある冷藏庫には絶へず氷で肉を冷して居る船の最下層に鑵詰の類（千圓以上のもの）が一ぱい貯へてある日本の家庭でも土の底に穴藏を作つて物を貯へる事にしたら大層の便利であるとは料理頭の意見てある

◎泰西婦女訓

◉惡書は惡語よりも不良なり假令文華絢爛を極むとも惡書は家庭に入る可からず

◉德とは何ぞや聖オーガスティン曰く德とは指導の宜しきを得たる愛に外ならず

◉富や快樂や名譽を愛する人は同時に他人を愛すること能はざる不幸の人たる也

◉感情を最も多く興奮せしむるものは同情也他に是に及ぶ可きの方法あるとなし

◉胸と胸心と心を肉と靈とに結びなす白銀の鎖絹の紐ア、是れぞ秘密の同情なる

◉同情は惡を懲し善を勸め冷酷の心を滅し人性の善良部分を發達せしむるもの也

◉基督の所謂「互に愛せよ」の語は世界を改造するに餘りある大なる福音を含蓄す

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人會記事

◎理事會開催　去月十六日午前九時理事會を開らき米國大統領令孃アリス、ルーズヴエルト氏一行來遊に付き役員有志者にて歡迎會開催の件につき協議し左の諸氏を準備委員に囑託したり

▲評議員　戸田極子、伊東美津子、岡部坂子、千家俊子、清浦錬子、松平須磨子、鳩山春子、下田歌子、濱尾作子、中山幸子、津田梅子、山脇房子、高木鐵子、長岡芳子、寺内瀧子、東鄕鐵子、三井壽天子、三井照子、柳谷千代子、有島幸子、武田錦子

◎臨時評議員會　去月二十四日午前八時臨時評議員會を開らき左の件を決議せり

一米國大統領令孃一行來遊に付本會より花束寄贈の事並に職員及會員有志者新橋停車場に於て出迎を爲す事

尚ほ當日の出席者は左の如し

▲會長　岩倉久子▲理事　近衞貞子、島津田鶴子、大山捨松、鍋島榮子、谷玖滿子▲監事　三井苞子、▲評議員　板垣絹子、戸田極子、樺山登茂子、黑木百子、伊東美津子、山地嶽子、松平雅子、神山萬佐子、尾崎八重子、堤常子、大寺常子、松平須磨子、清浦錬子、重子、宇佐川種子、守内瀧子、藤井德子、岩佐德子、保利久子、三井照子、中山幸子、有島幸子、内山訓子、古市幸子、東鄕鐵子、い子、長井とし子、高橋すゞ子、田部とら子、仁杉歌子、渡邊いれ子、山脇房子、豐島文子、波多野爲子、院繁子、柳谷千代子、松浦島子、濱尾作子、仁尾繁子、山浦鶴子

◎佳賓迎送の模樣　我が帝國と五十年來蜜の如き親交ある北米合衆國の大統領ルーズヴエルト氏の令孃アリス、ルーズヴエルト孃は既報の如く去月二十五日午前十時五十六分新橋着の列車にて同國陸軍卿タフト氏外八拾餘名の貴女紳士と共に入京せられたり本會職員

▲會長　公爵夫人岩倉久子▲理事　公爵夫人島津田鶴子、侯爵夫人大山捨松、侯爵夫人鍋島榮子、子爵夫人谷玖滿子▲監事　公爵世嗣夫人九條籌子、男爵夫人三井苞子▲評議員　伯爵夫人板垣絹子、同　戸田極子、同　岡部篤子、子爵夫人伊東美津子、子爵母堂山地謙子、男爵夫人堤常子、同黑木百子、同松平須磨子、同神山萬佐子、同清浦錬子、同千家俊子、同尾崎八重子、岩佐德子、東鄕鐵子、濱尾作子、渡邊稻子、中山幸子、柳谷千代子、長岡芳子、山脇房子、寺内瀧子、保利久子、丹羽花子、吉村よし子、山本多滿子、宮本かく、水野錬子、東鄕鐵子、日原しま子、岩佐千賀子、稲垣ふさ子、鈴木すゞ子、石崎鎗子、井上國子、市原よし子、飯塚里子、濱口盛江子の諸氏は他の諸團體に先立つこと二十分既にプラットホームに整列して一行を迎へ一行列車を降り立つや衆に先んじて珍田外務次官は特に岩倉會長をアリス孃に紹介し會長は本紙附錄に示せる如き花束を贈呈したるに孃は滿面笑を湛へて是れを受けられ會長並に大山鍋島等の諸氏と握手あり更らに同停車場より直ちに島津、大山の兩理事、伊東、千家、東鄕、寺内、武田の六評議員は米國公使館に令孃を訪問して長途の勞を慰められたるに令孃其他の貴賓より鄭重なる挨拶ありたり、越へて廿八日午後九時三十分新橋發列車にて令孃の一行退京につき左の諸氏は本會を代表して同驛に見送りをなせり

▲理事　大山捨松、鍋島榮子▲評議員　戸田極子、樺山登茂子、黑木百子、松平須磨子、神山萬佐子、千家俊子、岩佐德子、伊集院繁子、新山雅樂子、仁尾繁子、大谷加知子、保利久子、長井とし子、高木鐵子、柳谷千代子▲東京支部幹事　西村節子、桑原朝子、木村千子、增永德衞、賀子、岡さち、日原しま子、西川米子、松原錦子、山上淑子、松崎悅子、寺見時子、井上臨子、田口さだ子、古尾ますゞ子、木村八重子、宇津木ひろ子、濱面民子、關萬代、沼崎愛、石塚繁、牧田ますゞ子、青木要子、川崎安子、栗塚龍子、大住りつ子▲愛媛支部長　安藤菊子、同支部主事　倉橘是賢

本會は斯の如くにして此の遠來の佳賓を迎へ且つ送りしに對してアリス孃は斯く赤誠を以て鄭重なる送迎を受くるは豫想の外なりしとて多大の滿足と感謝の意を致されたるは本會の深く滿足とする所也

◎寄附金披露　其後金拾圓以上の寄附者左の如し

一金貳千拾五圓餘　米國桑港軍人遺族扶助會
一金千圓　英國アルバート、リチヤード、ブラウン
一金千圓　英國エー、アール、ブラウン、マクフアーレン會社
一金貳百五十圓　暹南蘇格蘭土基督信徒總代バツクレー夫人
一金百貳拾壹圓餘　獨國伯爵夫人コンアンホープ、カレルツー
一金百圓　岡山　岩澤壽賀
一金百圓　東京芝區　圓田桂子
一金七拾五圓餘　米國桑港　齊藤瓦美其他
一金七拾五圓　東京芝區救世軍日本司令官大佐ヘンリー、ブラート
一金五拾圓餘　英國婦人慈善晩香坡支部
一金五拾圓　米國ビー、タブリユー、ランバート商會
一金五拾圓　北海道　富益マサ子
一金五拾圓　北海道　小林ハマ子
一金五拾圓　伊豆神津島　總代森田清男
一金四拾七圓　獨乙　コリウス、シーンゲル
一金參拾圓餘　大阪　十合貫美子
一金貳拾參圓餘　獨乙　エヌ、エヌ夫人
一金貳拾圓宛　獨乙　エリス、ウヰーアムマン
　兵庫縣尾上　牧三郎
　兵庫縣市瀨上　試太郎
　東京　諸民團　エ、ヘンセン
　東京　小林英知子
一金貳拾圓餘宛　米國晩香坡　レー、エツナ、メツペー夫人
　フレデリツク、パスコムブ孃
　エス、ゼー、メンストール孃
　フアルクランド、ヴアーレン大佐
　一友人無名夫人
一金拾壹圓餘　獨乙　エー、エム、コンセル
一金拾圓餘　米國晩香坡　キンカント少將
一金拾圓餘　同　レー、エー、ヴオースノツブ孃
一金拾圓　北海道　佐々木一太郎
一金拾圓　佐賀　永尾シカ其他

因に前記寄付の内貳千拾五圓餘は桑港領事上野季三郎氏の盡力に依るものなり又ブラウン氏及マクフアーレン會社より各一千圓の寄付は蘇國グラスゴー府帝國名譽領事ブラウン氏及其會社にして同氏の令息現今新婚旅行として我國に來遊に際し父君より日本に到れば今回戰役の戰死者遺族の救護に爲す適當なる團體には寄付せよとの事にて來朝の上銀座貳丁目磯野商會主米井源次郎氏に協議せられ同氏を介して本會に寄附せられたるものなり

◎奥村刀自一行は去月三十日營口より大連に出て去る三日大連を發して安東縣に向ひたる旨の電報ありたり

◎臺灣支部の設立　去月十七日臺灣總督府内に本會臺灣支部を設置し支部長に後藤和子氏同顧問に後藤新平氏を囑托したり尚ほ右に付き從來の臺南、臺中、臺北三支部の事務は新設支部へ移したり

注意せられよ

◎本會宛郵便書類中入會申込書及び軍人遺族調査書の如きは名簿同樣郵便物又は小包郵便にて差支なきものに付き特に御注意申上げ候

◎七月二十五日午前十時三十分頃上野停車場に於て本會特別徽章一個拾得の旨同驛より通知ありたり心當りの人は早速に屆出でらるべし

◎鍋島支部の近況　同支部にては支部長始め副部長其他職員一同非常の精勵を以て會員募集に勉めつゝある結果昨今に至りては入會者陸續として多きを加へ既に規準以上の會員を得るに至れりと尚三好部幹事部の如きは其の内につきても最も顯著なるものなりと云へり

◎山口支部の慰問　山口支部に於ては去月九日渡邊支部長始め林副部長大久保幹事部長岩崎幹事山根主事等豫備病院山口分院を慰問したるが尚ほ十一十二の兩日は山根主事を支部長代理として室積及び湯野の轉地療養所に派遣し筑前琵琶師を伴ふて數回是れを演ぜしめ各患者を慰藉したるに何れも其の好意を感謝せりと

◎京都支部近況　京都支部にては大阪陸軍豫備病院へ急患者用品を寄附したる廉を以て此程賞勳局より銀盃一個を下贈されたり又た何鹿郡幹事部にては去月十六日第二回總會を開催したるが來會者五百餘名ありて盛會を極めたりと

◎大分支部近況　同支部の事業に就ては都度報道し來れるが最近況は左の如し

一、支部所在地に在ては支部長支部副長各評議員二名を一組とし各分擔區域を定めて隔月一回慰問しつゝあり

二、支部所在地外各郡町村は其郡幹事部役員又は家遺族在住町村の會員支部同樣慰問しつゝあり

三、四月三十日總會の際發表し五月三十日締切を以て募集したる扇子六萬五千七百本を得内四萬五千百本を出征十二師團へ貳萬六百本を佐世保所屬艦隊へ寄贈したり

◎出征兵士の寄附　出征陸軍歩兵二等卒岡本善兵衞氏は去月本會の事業を賛成し上陸以來貯蓄したる金五圓を「多額を要する資金の内に加ゆるは殆ど燒石に水を投ずるに等しけれども」云々と云へる懇篤謙讓の手紙に添へて寄附せられたり

◎本會募集扇子寄贈者　本會募集恤兵扇子百本以上寄贈者中前號記載洩の分左の如し

貳百六十四本　廣島縣　高田郡會員有志
貳百本　京都府　湯淺たけ子
百本宛　東京府　靜鑄德子
　京都府　三井通子
　京都府　大谷技子
　同　大谷章子
　同　賀陽宮女中
　同　大野しか子

◎遺族現況調査書に就て　昨今三十八年一月以降の戰死準戰死軍人遺族並廢兵の現況調査書を本部へ提出せらるゝ支部あれども三十八年分は本年十二月に至り提出せらるべきものにして其以前に提出せらるゝも其用を爲さゞれば此際三十八年分の提出は見合せありたし

◎贈呈の花束　去月二十五日米國の佳賓アリス、ルーズヴエルト孃に本會より贈呈したる花束に就ては本號附錄に見へたるものなるが右調製に付きては大山侯爵夫人の教示を受けたるもの少なしとせず花束は白薔薇花を米國々旗に縁める紅白藍三色のリボンにて結びたるものなり

◎滿洲遊説日記（二）

（奥村五百子刀自一行）

○七月四日　午前九時門司着、碇泊司令部より小蒸汽船にて西川少佐一行を迎への爲め來らる、直ちに上陸司令部に立寄り夫れより川卯旅館に到る田代門司市長（退職海軍大佐）來訪、入浴後門司公園に登る是れ二百三高地登攀の足均らしとして刀自の發議にかゝる、山を下つて再び川卯旅館に入り市長の饗應にて午餐を喫し同地の患者收容所を慰問し夫れより門司市婦人會員拾數名に波止場まで見送られて船に上る、午後二時拔錨同七時頃玄海洋にかゝる此邊常陸丸が遭難の場所なり刀自は岩佐評議員より托されたる地藏の像一萬枚を海中に投じ鐘打ち鳴らして讀經せらる

○七月五日　この日霧深く風あり波高くして船動搖し刀自食事を缺く事二度

○七月六日　この日も霧深かりしが風なくして海上至つて穩かなりき

○七月七日　午後六時大連着、有名なる大棧橋に上りて直ちに陸軍より廻はされたる馬車に乘じて元軍政署なりし三層樓の立派なる宿舍に入れり

○七月八日　船の疲勞や出でけんこの日刀自心地勝れず松尾醫師の治療を受く一行この日はこゝに休養せり

○七月九日　刀自の病氣全快、この日は本病院並に二里餘を離れたる第二分院並に公園内なる守備隊を慰問し夫れより再び二里餘を隔てたる火葬場に行き戰死者埋骨の地を弔ひ歸りて海軍防備隊に坂本海軍大佐を訪問し夜は北公園に兵士を集めて慰問の演説を爲したり

○七月十日　一行旅順に向ふ、同地に着するや重村工兵少尉の案内にてペリー大佐の旅舍に入り夫れより要塞司令部を訪問し午後は重村少尉の案内にて有名なる戰場松樹山、二龍山、東鷄冠山に登る樹折れ壘壞れて滿目の光景宛として尚ほ實戰の當時に於けるが如き感あり

○七月十一日　戰利品陳列所並に圖書館を一覽して鎭守府に柴山中將を訪問し夫れより黄金山に登り見るに彼の閉塞船が其儘の位地を保ちて沈み居れる外沈沒軍艦の帆柱各所に散見せり、午後は數日前の浮上がりしバーヤン及びペレスウエードに到りて作業の職工を慰問せり

○七月十二日　二百三高地に登りて戰死者の墓を弔ひ夫れより新國民兵の屯所に到り一場の演説を爲したる後將校と共に紀念の撮影をなし轉じて歩兵五拾聯隊に赴き廣庭に於て慰問演説をなし歸途司令部に伊知地少將を訪問したり

○七月十三日　鎭守府に於て午餐の饗應を受け午後一時より水兵並に職工數千人を集めて慰問演説を爲し終つて直ちに汽車に搭じ遼陽に向ふべく出發したり停車場まで柴山中將伊地知少將等一行を見送らる光榮何ものかこれに加へん

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

時事

◉米國佳賓の一行 既報の如く米國大統領の令孃アリスルウズベルト陸軍卿タフト氏を始め貴女紳士八十餘名は去月二十五日入京せり滿都の人士は此の佳賓を迎ふに前例になき熱誠を以てし滯京三日間は各戸に國旗を掲げ軒提燈を點じ日比谷公園に於ては晝夜花火の打揚げありまた一行は天皇陛下并に皇太子妃殿下に謁見を仰付けられ午餐の饗應を受けたるのみならず芝濱離宮の晩餐會、桂臨時外務大臣の帝國ホテルに於ける晩餐會、伏見宮御招待會、寺内陸相の晩餐會、實業團體の紅葉館に於ける歡迎會、米國公使館の園遊會等に臨み非常の滿足を以て吾が國上下の深厚なる待遇に感謝しつゝ同二十八日午後京都に向つて出發したり

花の意義

花に對し西洋の慣習的意義を附せらるゝもの左の如し

百葉薔薇（兒童の敬愛）　水仙（痴愚）　向日葵（痴愚）　桃の花（情愛）　月桂樹（勝利）　黄百合（虚飾）　鬱金香（貪食）　野ばら（誠祈）　忍冬（愛着）　金盞花（不徳）　金雀花（嫉妬）　拓榴（平和）　丁字草（贊導）

雁來紅（友愛及眷）　紅ばら（情愛）　桃色ばら（情愛）　鳳仙花（淡泊）　蓮花（柔順）　白ばら（潔白）　卯の花（幼年）　白百合（純粹）　李花（清貧）　夕顔（虚弱）　黄楊（堅固）　三色菫（離別）　薔薇の花（幼弱）

教育界

◉清國女子留學生 今回本邦駐劄支那公使楊樞及范源廉楊度氏外十六名の清國有志者は自國の婦人教育の必要を認め新に希望者二十名を本國に募りて是れを實踐女學校長下田歌子氏に依頼せしかば同校にては去月十八日より特に赤坂檜町十番地に假分教場を設け清國女學生二十名を收容し師範科を置きて師範部工藝部の二部に分ちて一ヶ年の速成にて修業せしめつゝあり其の年齡は十四歳より四十八歳までのものにして所謂儒家とも云ふべき人の娘最も多しとのことなり

◉家庭看病法講習會 京橋區長夫人長谷川夏子氏等の發起に係る同會は去月二十一日第一回卒業生二十餘名を出したるが結果甚だ良好なり續いて第二回講習會を九月二十二日より開催する筈にて入會希望者は九月二十日迄に京橋區築地三丁目築地女子小學校家庭看病法講習事務所宛にて申込むべし同會は十五年以上の女子は何人にても入會を許す由にて毎週二回火曜金曜午後三時より五時までとし講習料は金三圓期限は三ヶ月なりと云ふ

◉保姆講習所の近況 一ッ橋幼稚園内なる同所は本月上旬を以て第一回卒業生五十名を出す由なるが來學期の募集生は高等女學校卒業生又は教員免狀を有するものに限り入學を許し九月上旬より開講する筈なり尚ほ同所内にある女子音樂傳習所にては本月一日より十五日まで簡易音樂講習會を開らき保姆及び尋常小學校の女教員に限りて教授し居れり

◉ミシン講習會 芝公園第十五號地日本女子美術學校内にては來る十七日よりホワイトミシン夏期講習會を開らく由なるが講習の科目は專らミシンの使用法、附屬品の應用、器械の分解法等にて會員には一名一臺宛のミシンを貸與すべしと

◉東洋女學校の募集 去る四月開校以來漸次盛況に向ひつゝある東洋女學校にては來る九月の新學期に於て第四年級以下各學級拾名の補缺生徒を募集する由にて入學志願者は九月四日迄に願書を差出すべく入學試驗は同五日に擧行し國語と數學との二科目につき試驗すべしと

◉女學生と晝寢 晝寢の寢像の惡しきを直すと晝寢に規律を設けて一定の休息能く愉快なる精神を養はしめんとするの目的にて近時歐洲に於ては睡眠學校なるもの設けられたることを聞き及びしが我が横濱なるフェリス女學校に於ても校規にて今夏より午睡の一科を置き一時間晝寢に全生徒に實行せしめつゝありと

◉學生の音樂 近來音樂の流行盛んになり來りしが音樂遊戲講習所主たる山田氏の談に依れば同講習所には女學生のみならず外國語學校高等商業學校の生徒にして來り學ぶものなか〳〵に多きが大概はヰオリン科を希望する由なり

活動界

◉軍人の妻と寄宿舍 軍人の妻女にして良人の出征と同時に自分は女學校の寄宿舍に入り專攻科なり別科なりへ入學するもの頗る多く現に女子美術學校の如きは五名の將校夫人を在舍せしめ居るが親類などに預けてあらぬ風評を立てらるゝよりは寄宿舍生活の方如何に心安くまた利益多きか知れずとて他の女學校にもこの類甚だ多しといへり

◉學生の乘車區別 關西鐵道にては男女學生乘車の際連續列車の中央にある二等車を以て境となし其の後部に女生、前部に男生を乘込ましめ混同同車せしめざるやうに堅く注意し居れりと吾が東京市に於ける電車も午前七時前のものに限り二臺を連結して學生は勿論一般男女の同乘を廢しては如何と語るものあり

慈善界

◉將校婦人恤兵義會 三好有地宇佐川三將軍夫人の發企に係る同會は出征軍人に寄贈する目的を以て有志者より封緘繪葉書の寄附を募りたるに去月三十日締切迄には壹萬組以上に達したるが重なる寄附者は東京モスリン紡績會社女工の千五百組を始め三井男梅浦精一夫人三百組宛、三井三郎助夫人百五拾組、岩倉公細川侯岩崎澁澤高木男夫人百組等なりと

◉看護婦の篤志 病院船御吉野丸乘組の看護婦二十名は往航の餘暇に齒磨粉を製造し收容患者用として寄贈し來たりしが本月一日よりは右を廢して毎月各自本俸百分の一を醵出寄附することになせりと

運動界

●女學生富士登山 東京府第一高等女學校の四、五兩學年有志生徒五十餘名は來る十一日出發甲駿相武各地修學旅行かた〳〵富士登山を試むる筈なりと

◉蕣花と蓮花 蕣花は入谷の各園、根岸御隱殿の萬華園、同所千樹園、三河島の喜樂園、芝公園の苔香園、蓮花は不忍池、芝公園辨天池、淺草公園の瓢簞池等

◉鮎漁と釣 納涼がてら多摩川の鮎漁も面白かる可く青鱚釣りに好適の場所は洲崎と臺場の間又た黑鯛釣りは品川臺場附近よりかけて鮫津の冲合

新刊紹介

◉臺所重寶記 村井弦齋著 定價金八拾錢 食道樂の著作者として有名なる村井弦齋氏が實地經驗になる各種料理法を妻君下婢との問答體にして最も解し易く編まれたるものにして尚ほこの外に臺所道具の事衛生の事等をも併せあれば家庭には無くてならぬ是れが爲の重寶記なり（發行所、東京市京橋區銀座新橋際、新橋堂）

◉家庭衛生談 天野誠齋編 定價金貳拾五錢 弘田瀬川中濱遠山片山土肥大澤加藤濱田木下三島等十大醫學博士の家庭に於ける衛生談を集めたるものにして有益の書たるを失はず（發行所、同上）

烏丸光廣卿

福地櫻痴著 鰭崎英朋畫 （菊判美本）

▲實價金四拾錢郵稅六錢▼

徳川幕府の基礎漸く鞏く更に三代家光の豪強を以てし天下の勢威翕然として之れに趨きあはれ朝家の衰靡衰退昔に返す人もなし、見渡す限りは優柔不斷の公卿殿原、中に烏丸光廣卿あり孤松の冬嶺に挺然たるが如く遂に幕府の嫌忌を招く、櫻痴居士得意の筆を執て當時の光景を描出す、書中花あり王葩の艶、書中月あり玲瓏の光、眞にこれ夏季綠蔭の好讀物。

東京日本橋區通四丁目 春陽堂

めりんすゆうぜん

人形町通住吉町 赤のきん おゞきや

日乃出龍腦 商標

芳香馥郁

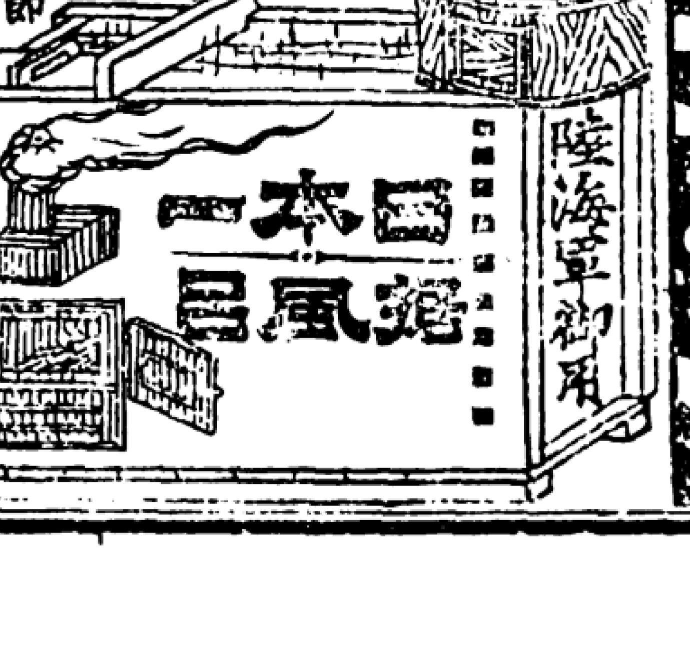
高尚優美芳香馥郁衣秋に薫ゆる 定價一ダース金卅八錢郵券代用（不苦）

東京本町四丁目（電本一五三四） 藥種問屋 松本合資會社

和洋服書畫等の虫よけ 濕氣を拂ひ衣類の着心をよくす

夏期は殊更入用土用干しには必ず御忘れなくひのでりうのうを御用ゐあれ

第五博覽會三等賞受領



鑄銅製造本邦改良 鑄物風呂各種出來有 銅製改良風呂釜各大小出來有〼 圖面定價表御入用の節郵稅貳錢御送り次第御送呈

製造發賣元 東京日本橋區通油町十九（電話浪花一四六） 銅器物問屋 南部鐵瓶販賣 石川商店

登錄商標 薔薇麝香入 無毒薄化粧 水晶おしろい

東京通塩町 大和屋 發賣

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎第壹回募集短文披露

題『納涼』

▲水晶簾　東京　鈴木八重子

黒繪に髣髴る紀淡の山姿島影、偖ては霞うすれ行く眞帆片帆、それ願へり勝ちに六甲の山々、翠滴たらん許りなるを前に控へつ、分け登る坂路のさして嶮しと云ふにはあらねど、玉なす汗は額を流れて、呼吸の喘むを覺ゆる頃、俄かに聞ゆる轟々たる水の聲、涼氣自ら身邊を襲ふて、寸前の苦熱生田の川にや流れ行きけむと嬉し、ア、七丈の水晶簾、布引の瀧はソレ其處に。

選者曰　瀧の景を叙せずして瀧の涼しきを云ひ現はしたる面白し

▲一葉舟　東京　會員某

この頃のいと暑さに、すゞしき所とはゞやと友を誘ひ、川の最中に一葉のふねを泛べて、風のまに〱夏の月を眺めつゝ、暫し流れに溯り、しらず〱にちりの都を後になし、靜けき蘆のほとりに棹さして手をすゝがんと水をむすべば、月手に入りて其心地よさえもいはれず、折柄見ゆる光は露か螢か星かげか、ふけゆく鐘の音きゝてかへる袂の涼しかりけり。

選者曰　排想陳套なれど巧みに書かれたり、なにがしとは心得ぬ、名乘り給へ

▲笛の音　山梨　小尾玉代子

たへがたき夏の日影はやう〱山の端に沈みぬ、夕餉すましてひるの暑さを拂はんものと庭におりたてば、松の梢には涼しき風あり、池の面には涼しき月あり、心地よさ云はん方なく、幼きもの等にさそはれて、庭園のあちこちかけめぐりつゝ、しばし椽先にいこふ折から、何れの宿のすさびなるらむ、ゆかしの笛の音きこえそめけり。

選者曰　涼味滿身

▲夏は夜　東京　浦月子

日くらしの鳴く夕暮、早う月はさし出て、都の内なから遠く街を離れたるわが住居こそいとをかしけれ、あやしき伏屋も塵打ち拂ひて靜に清き月影に夏ともしらて涼みふかしたるあたりの畑には樣々の苗木など作りなしたるが、綠深う露をふくみ、遠くは森の黒み渡りて吹き入る風のいひしらず心地よしや、笛とりいでゝ庭打ちめぐるもあり、唱歌うたふもあり、あはれ故郷の海邊も涼風霽月の詠めは去年に變らざるらん、かの大木の木のいつも書持ちいてゝ立寄りつゝつい垣青田に絶なき螢飛びかふさま、思ひは千里をも月にはせてへだてなきやから打ちくつろぎたる、實に夏はよるこそ。

涼風のわたる夕は故郷の
　海にきらめく月をしそ思ふ

選者曰　規定の行數を過ぐること二行、されど他に佳作なきをもて採ることゝせり

又曰　群馬の伏島たき子、米澤の野間とよ子、埼玉の水野淑子の君等應募者多かりしも選に入るもの少なかりしは遺憾なりき

◎第八回募集作歌披露

題『朝顔』

○　東京　四屋保子

朝かほのさきぬと人のいふ聲に
　ゆめさまされてとくおきにけり

○　東京　戸塚てつ子

まかなくに殘りし種のおひいでゝ
　今年もさける庭のあさかほ

○　大阪　富永才子

そよ〱と露ふきこぼす曉の
　風にひもとくあさかほの花

○　福岡　村島常子

つゆのまを命とたのむ朝顔の
　花をわか身にくらべてそみる

○　富山　小野彌枝子

つゆふくむ花のすがたの朝な〱
　かはりにきはふ樣そやさしき

雜誌の新聞

◎今後の社會と女子教育　千五百圓以上の收入ある昔の農家の子女は僅かに婦人に必要なる手藝と禮法さへ覺へれば厨裡の事などは知らなくても宜しい夫れで立派なお孃樣で嫁して賢明な妻であつたが進歩したる今日の女子はさうてはない所で地方の少女が都會へ出て來て學問をするは是れは惡いとではないが彼等の理想は何であるかと云へば財産有りて學問ある男子を良人とせんと云ふのである併し中等社會に於ては彼等が夢想する如き美しき贅なる生活の出來ぬのが今日の狀態である其處でツイ悲しむべき境遇に墮落するものが少くないやうてある海老茶袴を穿きて前髪にリボンを着し踵高の靴に透し編の手袋をなさずば結び無げなる今日の風潮は滔々として今後如何なる結果を齎すべきかを想ふ毎に眞に驚き且つ悲しまざる可らざるものあるを覺ゆるのである（女學世界九、横井時敬）

◎常識と子弟の教育　偉人とか名士とか云はれる人の家庭にも良家庭と云はれぬものが澤山にある是れは所謂英雄豪傑又は專門の學者一代の道德家とも云はれるやうな人は非凡な所がある丈け夫れ丈け常識も缺けて居る所があつて家庭の治め方も子女の教養法も常道を失ふからである普通教育に專門學者は不適當であると云ふことも亦以上の理由を含んで居るからである故に教育者は自ら常識を備へ且つ子弟の常識を養ふことに務めねばならぬと思ふ如何に學問が勝れて居ても如何に道德が堅固でも常識に缺けた所があり同情を圓滿に寄することの出來ぬ人は子弟の教育は勿論一家を齊へることは到底出來ないものである常識の教養と云ふは實に大切である（教育時論七二九、社論）

◎良妻賢母の資格　良妻と云ふ者は夫を愛し夫に愛せられ夫を敬ひ夫に敬はれる所の婦人であると云ふ以て築いた愛でなくては永續しない愛丈けのものならば動物の牝牡にもある互いに相愛するのみで相敬すると云ふ事がなかつたならば我々の家庭は決して光輝あるものではない男子の放埓に依つて家庭に不幸不幸の起るのは素より男子の罪であるが一方から云ふと多くの婦人に一家の妻たる丈の見識がないからである故に男子をして自己に對する尊敬の念を起さしめるに足るやうな人格を養ひ男子をして我儘の念を生ぜしめないやうにして初めて文明の良妻と稱することが出來るのである賢母と云ふとも同樣のことを云ふて良妻となることが出來れば夫れと同時に賢母となつて來る（家庭之友四、鎌田榮吉）

◎結婚と戀愛の關係　結婚とは十字架のごときものでせうか物の見事に初志を果して立派に墾地に逍し得る人が幾人あるでせうか結婚は戀愛の墳墓です。さうして細君は墳墓の上にある十字架です結婚が幸福であることの難かしいのは丁度二が一となることの出來にくいのと同じでせう結婚いたしますには戰爭に參るよりも大なる勇氣が無くてはなりませぬ結婚と戀愛の區別を申し上げませうか夫れは結婚が始まつた時は戀愛の亡ぶ時だと云ふに過ぎません（二十世紀之婦人七、登張竹風）

◎第九回作歌募集

△歌題　月前遠情

△選者　某公爵夫人△作歌數一人一題三首以下△期限八月十五日限り△優等の作歌は本紙に披露し高點者五人に貴婦人自筆の短冊を進呈す

◎第貳回短文募集

△題　蓮花　文體隨意

△選者　編輯局同人△一行十八字詰十五行以下瑞書に認めたるものは採らず△期限　八月十五日限り△優等の作は本紙上に披露す可し

（ラクダ印）

（麝香石鹸）

ラクダ印麝香石鹸は高貴なる麝香に愛すべき香料を多量に含むが故壹度使用せば其香氣身体は元より手拭タオル、ハンカチーフ及び浴後のゆかたに至る迄うつり香いたし五日間は馥郁として香りを失なはざる効力は舶來品にも未だ見ざる一大特點を有す

○定價大形廿錢　小形拾錢　○熱心勉強なる和洋小間物賣藥化粧品店にて必ず販賣せり

近來類似品有「ラクダ印」と井上に御注意

東京本石町三丁目十八番地芳香藥舗問屋　井上太兵衛

新意匠携帶草履　貳圓以上

貴婦人令孃方ノ會場又ハ旅行用トシテ最モ輕便ナリ形ハ三ツ折ニシテ優美高尚薄ク輕ク携帶ニ便ナルハ本品ノ特色ナリ

◎千代田草履　貳圓以上

◎元祿草履　貳圓以上

◎江戸子草履　壹圓三十錢以上

右之外御付女中方最必要用輕妙なる上草履あり特別廉價三四十錢位

右之品意匠新新珍品澤山取揃有之市内ハ御報次第員店可伺候遠方ハ御申越次第引換小包ニテ發送可申上候

登録商標　香　香取屋本店　東京市淺草區茅町貳丁目　電話下谷千百九十二番

高尚で通俗　讀み易くておもしろく　實際で親切

第三號　八月一日發行　主婦人の成功は婦人の次第

明治の家庭

◎私日本好き（口繪）◎夢を見て泣く兒につき ◎子供の嫉妬心 ◎夏の遊びと新按の水砲 ◎武ほうが培つた野菜のご馳走 ◎花嫁の日記 ◎子供に菓子を與へる時刻 ◎結婚當時の所感 ◎貞節な音樂家 ◎子供の育て方（問題澤山）◎家事いろ〱

毎月一回　一冊六錢　六冊郵稅共三十錢　一年十二冊六拾錢

發行所　東京市牛込區納戸町六　明治の家庭社

寫眞撮影　淺草公園　江崎

夏向かみの毛の養生

カール　女優マダム川上貞奴發明劑

毛の色も良くしくせとちゞれ毛を直す東髮や束髮の頭のむきを去り毛のおぶりとよごれを取りてふくさぼを「フツクリ」させのみ形をよく毛を「サラリ」として洗ひみの如く夜頬をよごさず東髮や下げ髮の令孃方の最も必要なり

製造元　東京市外神田鍛冶町　地球堂田中

登録商標　羽おり紐　華しも

市内ハ御用命次第參上一報次第可伺候

定價表ハ御申越次第呈送仕候

佐竹組糸鋪

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

世界のしんぶん

◎王冠の價値　歐洲にて最も輕き冠を戴くは英國王にして重さ三百匁なれど其價三百萬圓なり裝飾の青玉はエドワード王（古の）の印章なりしものを用ひ羅馬法王の寶藏には三個の冠ありて其價四百萬圓なり其内一個はナポレオンのバイヤス七世に贈りたるものにて世界第一の巨大なる鋼玉石を用ひあり他の一個はイサベラ王のバイヤス九世に贈りたるものにして重さ三百六十匁ありといふ

◎無人島　印度沿岸とマダガスカル島との間には凡一萬の無人島ありといふ

◎高價の郵券　英國の或る都會にて一婦人英領ギニヤ發行の二仙郵券二枚を喜捨箱に投入せり然るに住職ヨサといふ人此切手を競賣にかけたるに二千五拾圓にて賣れ行たり其後此切手他の人に賣られたるに其價六千五百圓なりき此人又翌年是を七千八百圓にて獨逸商人に賣りたるに此のもの是をロシャの貴族に一萬圓にて賣渡したりといふ

◎ルーマニヤの女子　ルーマニヤ國にては此程議會速記者を採用するに競爭試驗を行ひたるが一女子他の男子に優りたれば獨り採用せられたりと、又同國は議會開設以來女子の進歩顯著にして、大藏大臣の如きは既に十五人の女子を書記官とせり依て同國の男子は是に對して大に反對しつゝありといふ

◎鐵道役員　米國の鐵道にては一哩につき六人の人を使用し居れり然るに英國にては二十八人なりといふ

◎外科手術　此程獨逸國にて一青年爭論の結果深き傷を受けて心臟を突きたり依て二時間後には死亡すべき筈なりき然るにブリットマン博士は青年の肋骨を外し助手は其傷に指を突き入れ博士は其指の周圍を縫ひたれば血を失ふ事なく傷口は塞がれたり青年は數分後には常の如くなれりといふ

御婦人
最も注意すべき家内の清潔は如何にして成効し得るか

デシン
を使用せよ本劑は日本で出來た殺菌の消毒劑洗濯を兼ねた唯一の消毒劑である夏季の衛生に最必要
使用を怠るな本劑の無き所傳染病と臭氣は來らん用法安全
各藥店にあり

花王石鹸
品質善良
衛生ト經濟ニ適ス
本鋪 東京 長瀬富郎
米國聖路易萬國大博覧會
名譽銀牌受領
關西代理店大阪大崎組商會

英國新輸入
無類製造
最優原料
皮膚艶美
クイーンおしろい
クイーン水
本鋪 花陽堂
取次販賣は到る處の小間物店化粧品店にあり

無水麝香石鹸
工業用
船舶用
衛生用
洗濯用
各種
神戸鳴尾社（特電一五二）
代理店 小林ライオン

諸大醫處方調劑
夏期之衛生料
○香水。香油類
○雲南麝香
○匂袋。各種
○薫香。線香類
○かやいらず
簡便衛生機械
○吸入器各種
○體温器各種
○灌腸器各種
○イルリガートル
○哺乳器各種
○乳吸器各種
内外藥種賣藥
高等化粧料
滋養飲料各種
東京市神田區今川小路三丁目俎橋通
電話本局一五一八
尾澤純良堂
藥劑師 大西橋三

好機不可逸
我社定款に依れば、舊期社員は新期社員よりも毎年高率の利益配當を受くるの權あり、然るに我社は
來八月末日を以て第三事業期を終らんとす、特に九、十兩月に於ては最多額の契約を有する十府縣に於て、八月末日現在の社員の互選を以て、新に社員總代を選擧するなり、入社の志ある諸君幸に此好機を逸する莫れ
東京市日本橋區新右衛門町
第一生命保險相互會社
電話 本一三七三、本一七三七

米國セントルイス萬國大博覧會銀牌受領
陸海軍御用

象印齒磨は品質にして衛生上及び齒牙に殊効あるの故を以て豫て陸海軍の御用品たる事既に江湖多數愛顧者の熟知せらるゝ所なりと雖も猶今回の事局に際しては出征軍士の爲めに恤兵部の御買上品に選定せられ益々御用命を蒙るに至りしは本品の最も光榮名譽とする所なり
關西代理店 大阪 藤森源之助

從四位淺田宗伯先生直傳
淺田飴
だんせきに
あさだ 淺田飴
すきはらに めし

良藥にして口に甘し
定價 金五錢 金參拾錢 金貳拾錢 金拾錢
本品全國到る處の藥店に販賣す
本家 東京神田鍛冶町 大阪北久寶寺町 堀内伊太郎

元祿もよう半ゑり
はをりひも、おびしめ
並に御進物用ハンカチ化粧品いろいろ
洋かさ種々
神戸元町五丁目 ゑり卯

目 半ゑり帯揚 下締け出し 元祿模樣
別染特色 浴衣地 有松しぼり
○染模樣絞り染形帯片側地○絞り形兵兒帯
○夏肩掛 尾花ショール○レースショール
有効受賞 まげ入 ゑり治形 すゞめ形
高等洗粉 チェリー 顔肌美白受合發賣
新橋 竹川町十二番地 電話新二〇二七 本店 ゑり治
神田 表神保町壹番地 電話本局九五二 支店 ゑり治
新橋際 帝國博品館内階下 ゑり治出張店

醫院案内（順ぐりの事）

内科一般 午前宅診 午後往診 板垣亭
東京神田區美土代町三丁目十七番地 電話本局貳千九百七十番

◎婦人科 ◎小兒科專門 午前宅診 午後往診 女醫鷲山彌生
東京市麹町區飯田町四丁目九

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

東京市麴町區錢瓶町(常盤橋內)
日本興業銀行
電話本局 三、三〇〇番 四一一番 (特)三七一番 一〇二番
一定期預金 年五分
一當座預金 日歩七厘
一特別當座預金 日歩一錢

東京市日本橋區通一丁目
合名會社 森村銀行
電話(特)本局六七三番
定期預金 六ヶ月以上 年六分
當座預金 百圓に付日歩 壹錢
特別當座預金 同 日歩 壹錢參厘

資本金千八百萬圓
東京京橋區木挽町
株式會社 十五銀行
電話新橋 三〇番 一五三〇番 三一九三番
同日本橋區新乘物町
同 日本橋支店
電話浪花 一九〇一番 三二七四番 三五〇八番
一定期預金 六ヶ月以上年五分
一當座預金 日歩七厘以下
一特別當座預金 同 壹錢

陸軍衛生材料廠御試驗濟の上御用命を蒙りたる米國最流行

カーネーションクリーム
米國製新式砂糖を混合せざる防腐鑵詰牛乳
●見本品は二個迄一個金拾錢
クレッセント(三日月印)ベーキングパーダー
純良無害の菓子製造用ふくらし粉
●見本品は無代價進呈す
右二個說明書は端書にて御照會次第發送す
發賣元 東京市京橋區築地三丁目十二 鮫島商會

◎牛豚肉販賣及西洋料理◎
●品質佳良の肉類廉價に販賣候
●配達は迅速に且つ正確に致候
●滋養と風味の西洋料理調製候
●西洋料理出前は格別相働き候
●米店は精撰の白米廉價販賣候
●御注文は電話又は葉書で願候
小石川表町廿二番地 電話番町六五九 西川本店
本郷區駒込東片町五番地 電話下谷三二七一 西川支店
小石川表町十一番地 電話番町一四六一 西川洋食店
小石川表町十八番地 米穀商 西川嘉門

正札附陳列場
西洋小間物 帽子各種 婦人用小間物
中久商店
東髮用具 內外化粧品 玩具文具
東京神田小川町通り 裏神保町一番地

高等香油
チエリーオーイル
紳士貴婦人令孃用
品は無色透明さらくとして此の如く香氣は香水に異ならず故に紳士は勿論、貴婦人令孃方に目下大ゐに流行せる彼の束髮用としては非常に高評を博しつゝあり
定價八十五錢、四十五錢 廿五錢(送料各十錢)
賣捌は全國有名なる小間物化粧品店にあり
發賣元 東京日本橋區本町二丁目 高橋初次郎 特電四一三番

消毒防臭劑
(良名デシンフエクトール)
デシン
奏効確實 用方簡便 無毒安全 價格低廉 藥店ニ有

一手發賣元 東京 大和屋

誇之親王
東京日本橋區長谷川町 卸部 美濃磯本店 電話浪花二八五九番
本郷區本郷五丁目 小賣部 美濃磯本鄉支店 電話下谷一四一五番
淺草區諏訪町 美濃磯淺草支店
日本橋區佐內町 美濃磯佐內町支店
神田區小川町 美濃磯神田支店
深川高ばし際 美濃磯支店
芝區新櫻田町 小田商店
牛込區神樂町一丁目 伊澤商店
四谷區傳馬町一丁目 伊澤支店

內科小兒科 宅診午前 往診午後
麴町隼町二八(平河天神前)
ドクトル 川瀨元九郎
電話番町八二三

婦人科產科榊病院
院長 醫學博士 榊順次郎 每日午前診察
副院長 醫學士 久保德太郎 每日夕刻診察
東京麴町三番町卅三(電話番町三九五)

犬猫診察
病苦に悩む可憐なる無告の諸動物を治療す
麴町區飯田町五丁目二十六番地(國學院横通り)

診察午前 本院 入江家畜病院
本鄉區湯島新花町九十九番地(切通公番より南半町)
診察午後 分院 本鄉家畜病院

專門 產科婦人科 ドクトル 樋口繁次
歸朝後於本院診療に從事す
各科診察從前の通
東京病院
芝愛宕電 新二六四

院長 醫學士 鳥山南壽次郎
鳥山內科院
午前診察 午後往診
京橋區鎗屋町十一番地
電話新橋千七百四十六番

●水原產科婦人病院
○所在神田區猿樂町十二番地(電話本局千七百〇九番)○外來診察午前中○入院往診隨時○本院には私立產婆學校の設あり

峰內科醫院
內科病特に腦脊髓神經疾患
院長 ドクトル メヂチーネ 峰秀世
神田區西今川町三番地(電話本局三〇一九)

小兒病診療 宅診午前 往診午後
淺草區福井町貳番地
醫學士 內田愼太郎
電話下谷七一八番

山口眼科醫院
東京神田錦町參丁目 電本七一五
院長 醫學士 山口秀高
診察午前午後 入院隨時

產科婦人科診察 入院隨時
日本橋區濱町二丁目十二
電話浪花三三四三番
稻生醫院

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

明治三十八年八月五日發行（毎月五日二十日二回）

洗用ワッセル

◉此ワッセルは油じみ油あか如何なる汚れても揉ずに必ず落る石鹸曹達の如く布を損傷せず染色を褪さず費用と手數を省く經濟上有利なる日用品であります
◉用法は湯一升に二匁（小杯へ半分餘）の割合にて溶解し洗濯物を凡二時間浸し揉ずに濯ぎ後湯又は水にて洗へば自然に脱ますシヤツの如きは（拾貳弖）入一本にて貳百枚は必ず洗へます御婦人の髮は一匁五分を一升餘の湯に溶解してかもじを洗う用に揉ずに洗べし左れば玉子で洗た樣になります又食器臺所道具を拭き掃除にも有効です
定價　拾貳弖入 金拾五錢　袋入二錢　六弖入 金八錢

芳香御肌洗粉ワッセル

◉此肌洗粉ワッセルは當時歐米各國貴族社會に流行する芳香類を加味し製造せしものなれば朝夕御使用の方は香氣馥郁として肌持晴々す又おしろいしたを用ひすして御化粧が出來ると妙なり
定價最上金七拾五錢　金貳拾錢　普通五拾錢　參拾錢　拾七錢　六錢　三錢
東京市京橋區三十間堀三丁目
英國製ワッセル日本一手販賣元
御肌洗ひこ芳香ワッセル製造元
三友商會　電話新橋千七百十二番

歯藥之王 一六散

米國醫學博士ジヤス氏發明藥
日本諸大醫實驗頌讃功能保証
歯の痛直に止る保証
歯の腐蝕崩碎を止る
歯の惡熱を去る
歯の動きを能く締る
價拾錢廿錢送料貳錢　各藥店に取次
毒にならず口の荒も共に治る香でもよし
東京木挽町九丁目八番地　木原山石堂藥房

芳香の永く保つ點に於て高評なる ムスク香水

芳香無比
○夏季の贈答品として婦人の最も嬉ばるゝ佳品なり
○有名なる賣藥小間物化粧品店にあり
大瓶一圓　中瓶六十五錢　小瓶二十五錢

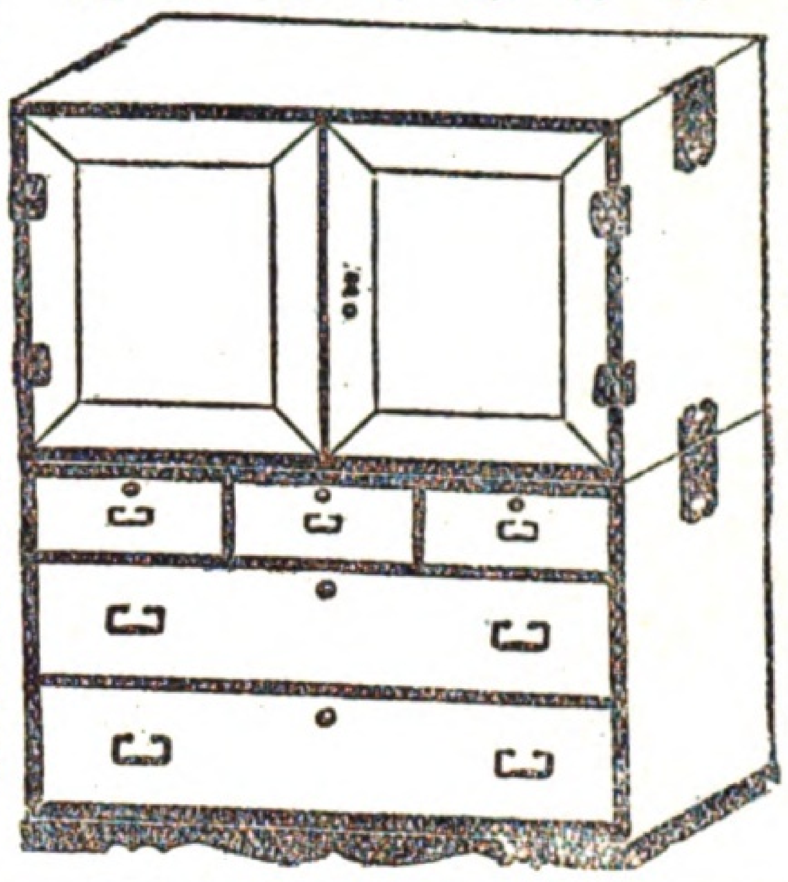
（中瓶全形）　（小瓶全形）

東京日本橋區本石町四丁目
松澤常吉香水部發賣

數代之老舗

一度びにても御用命被仰付候方樣にて御蟲ぼしの砌り簞笥長持類其他具合惡しき等の箇所相生じ候節市内は御伺ひの上地方は小店宛に御送附被下候へば期日迄に無代修繕可仕候

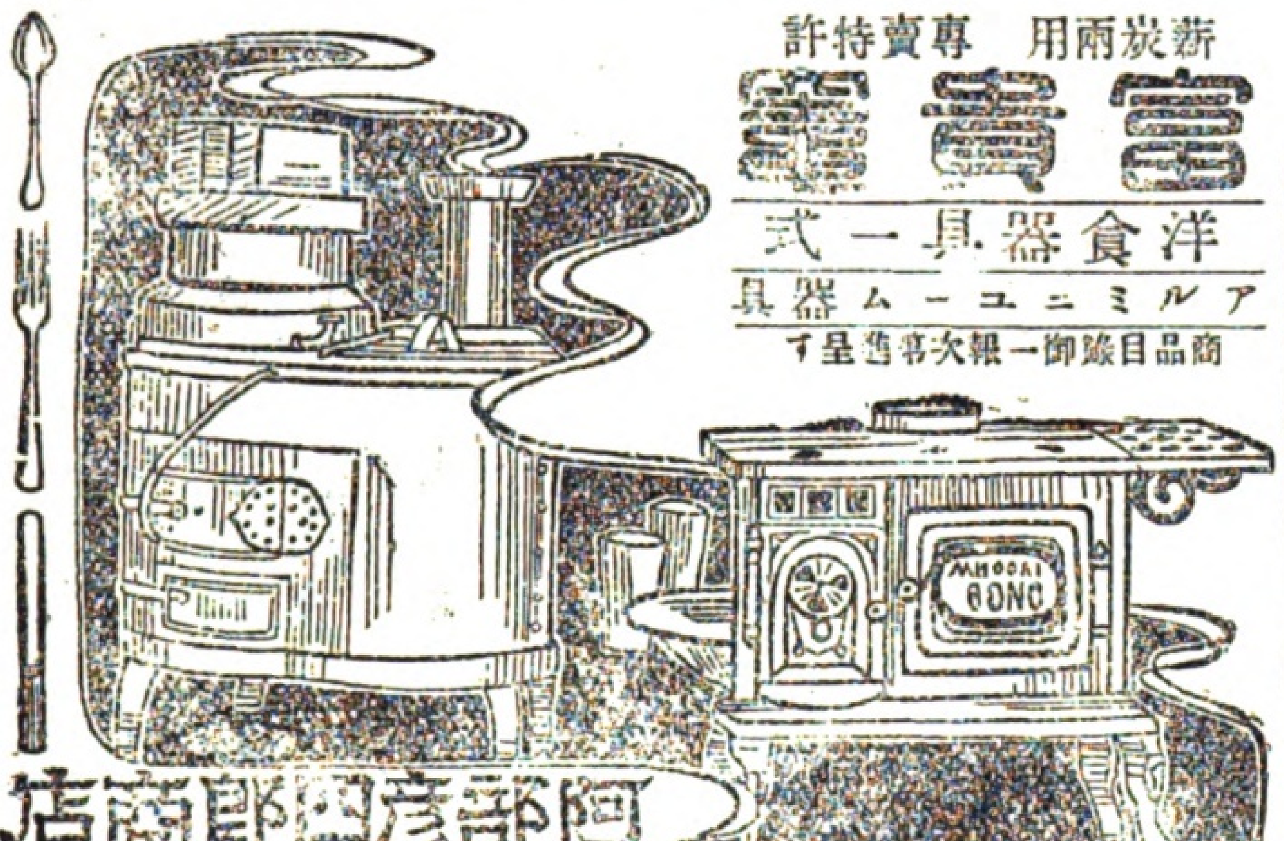
蟲害豫防法實施



○御注文に應じ箱類一切入念調製仕候其他御婚禮等御急ぎの節は早速取揃へ御間に合せ可申上候
東京市日本橋區小傳馬町一丁目
長島屋號　長谷川傳次郎　電話浪花一千四百三十五番

富貴竈

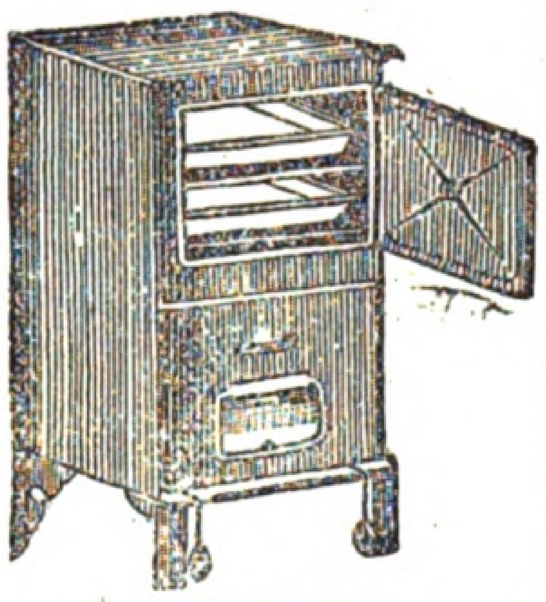
新炭兩用　專賣特許
洋食器具一式
アルミニユーム器具
商品目錄御一報次第進呈す



阿部彦四郎商店
淺草茅町停車場際電話下谷一九二三番

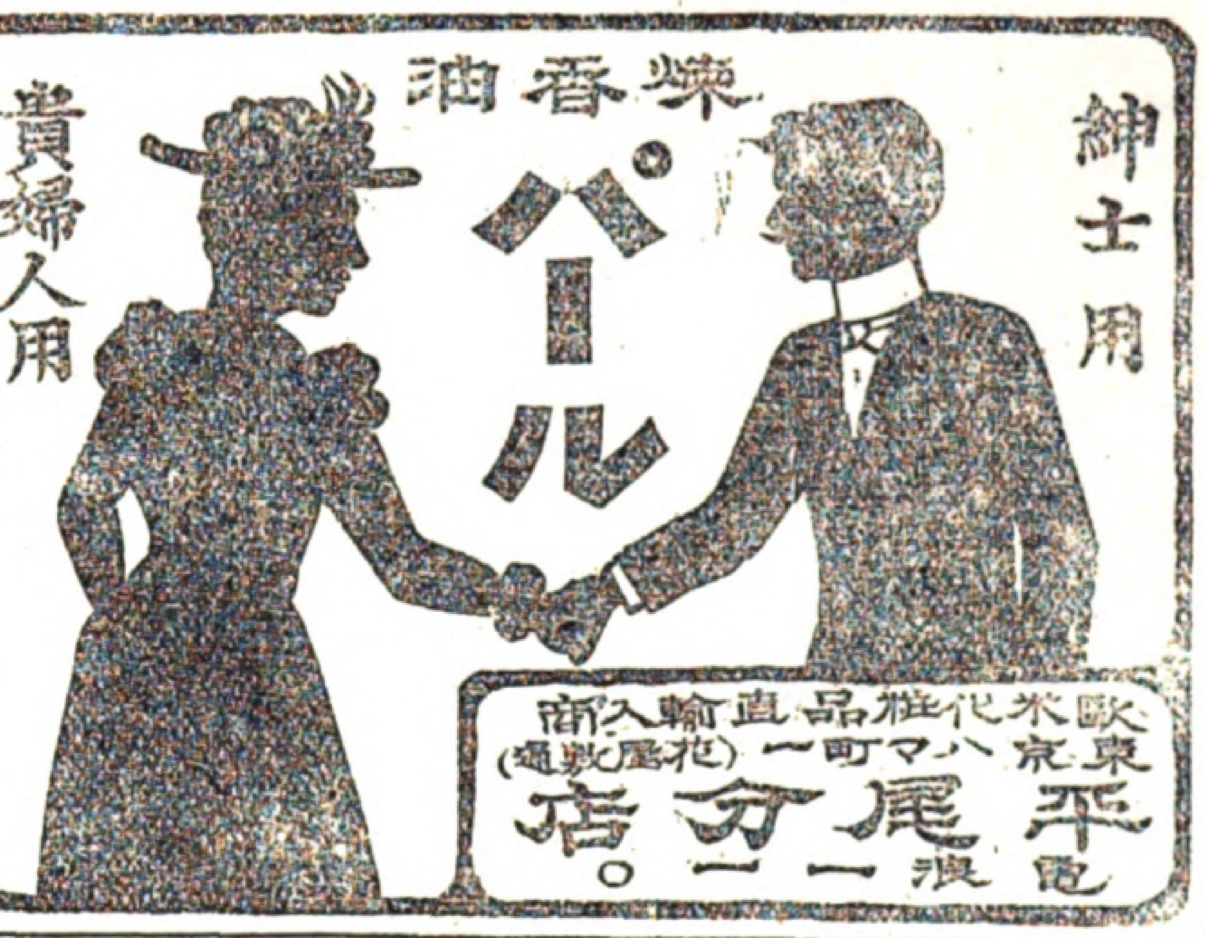
特許 輕便料理ストーブ

一名文化テンピ



和洋割烹兼用
輕便にて完全に料理ストーブの妙用を爲し和洋料理に用ひ至極便利にして頗る妙なり
定價小四圓貳拾錢大五圓八十錢

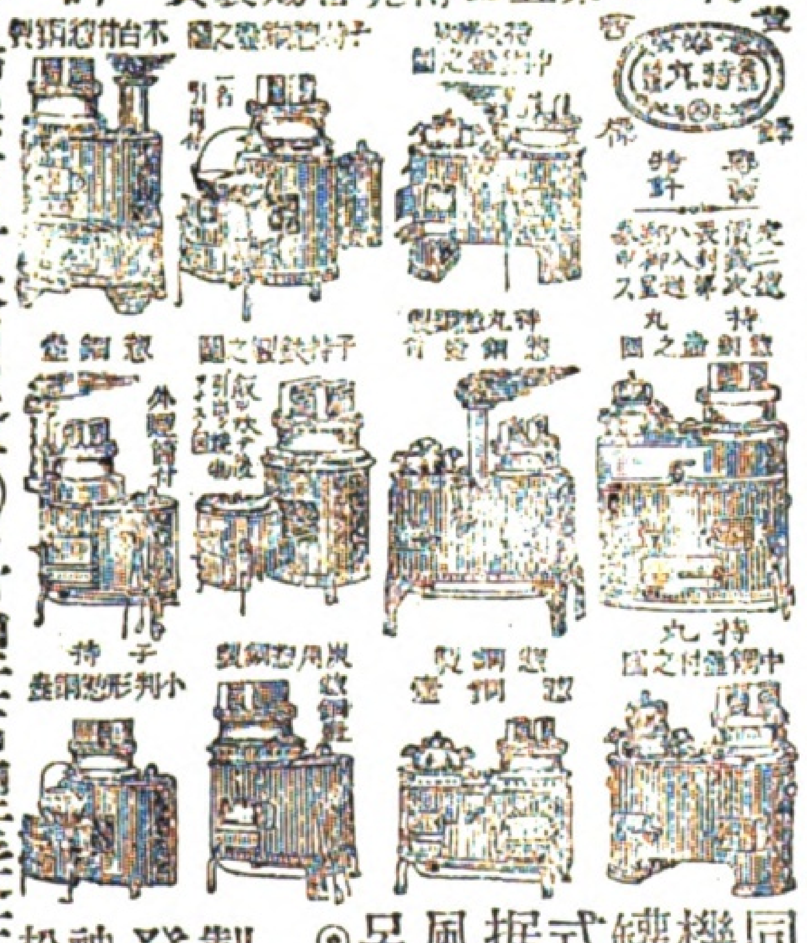
煉香油 パール



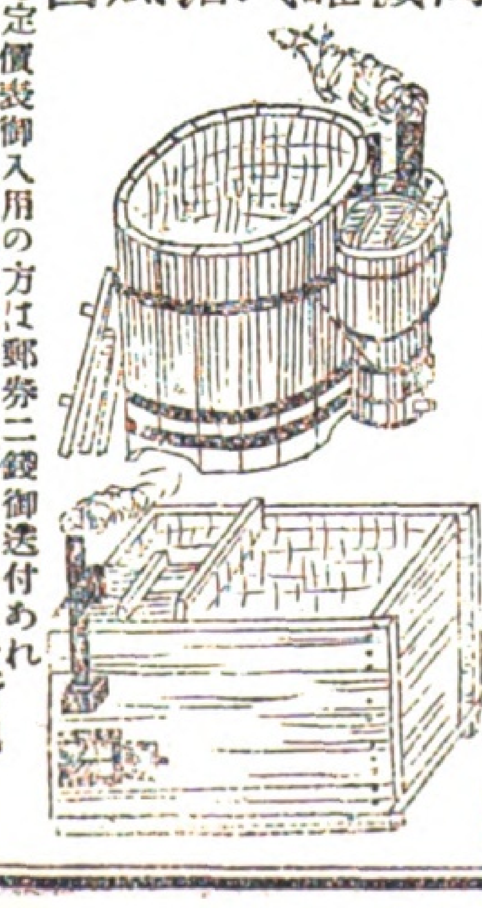
歐米化粧品直輸入部
東京ハマ町一（花屋敷通）
平尾分店　電話浪花一一〇

特許 ◎第五回博覽會褒賞

◎湯屋溫泉用釜◎料理店理髮店用湯風呂◎豆腐箱



同機罐式据風呂



◉定價表御入用の方は郵券二錢御送付あれ
製造　日本橋區蠣殻町二丁目十五番地　名和商店　電話浪花千百七十七番
發賣元　神田區和泉橋通松永町十八番地　名和支店

愛國婦人廣告取扱所
京橋區數寄屋橋外 弘報堂
神田區千代田町 一傳社
京橋區南大工町 星報社
京橋區入船町 廣告社
日本橋區上槇町 萬年社
日本橋區箱崎町 栗原九助
京橋區宗十郎町 正路喜社
京橋區日吉町 帝國通信社

東郷花

其他流行花東花簪籠製造
本郷三丁目三十一番地
東郷造花店

富源事業風景悉く網羅

七月廿七日刊　寫眞帖增刊

樺太占領寫眞帖

價廿錢郵税貳錢

◎樺太は我新領土にて我國民の經濟的大舞臺なり本帖は多年樺太に在て最も事情に精通せる現樺太上陸軍通譯官高井義喜久氏及決死隊を率ゐて昨年戰爭中渡樺せる波多仲猛太郎氏撮影の獨特寫眞

寫眞及口繪版四十枚
▲占領軍の勇將寫眞 ▲皇軍上陸地點寫眞 ▲アレキサンドル府寫眞 ▲コルサコフ港寫眞 ▲煉漁場の寫眞 ▲鮭漁場の寫眞 ▲捕鯨寫眞 ▲森林寫眞 ▲牧畜寫眞 ▲石炭寫眞 ▲採掘寫眞 ▲膃肭獸の寫眞 ▲日本街寫眞 ▲露人街寫眞 ▲雪景の寫眞 ▲豐漁寫眞 ▲我領事館寫眞 ▲夏冬光景寫眞 ▲露人土人風俗寫眞 ▲一班等獨特の珍品數十

◎記事は樺太の地理歷史漁業農業林業牧畜等悉く詳記す眞に樺太企業の指針

東京麴町有樂町三丁目　實業之日本社　賣捌　各地書店

戰勝紀念ピン

金銀の地金に七寶の彩色うるはしく圖案は孰れも陸海軍を象れる優美なる意匠に成れるもの世の紳士淑女たちは各その胸間に飾りて此の千載一遇の皇軍大勝利の紀念としたまへかし。
定價　純銀製一個金三十五錢以上　餘は御好み次第迅速調製可仕候
手釦は孰れも陸海軍を象れる優美なる意匠を凝らしあれば世の紳士たちは洋服に飾りて皇軍大勝利の紀念としたまへかし。
此圖案の外陸海軍連勝にちなめる斬新の意匠を凝らしたる提物澤山出來致居候
宮內省御用達　東京市下谷區池の端仲町
玉寶堂　電話下谷 特九六五番 一二四四番

發行兼印刷人　山澤俊夫　編輯人　手島益雄　發行所　愛國婦人會內

印刷所　東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地　株式會社秀英舍第一工場

愛國婦人第八十四號附錄

帝國圖書館 IMPERIAL LIBRARY

明治三十八年八月五日發行（毎月二回五日廿日）
明治三十五年三月廿七日（第三種郵便物認可）

米國の佳賓アリス、ルーズヴエルト孃に贈呈の花束

本會會長
公爵夫人
岩倉久子

發行兼印刷人　山澤俊夫　編輯人　手島益雄　發行所　愛國婦人會內愛國婦人發行所
印刷所　東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地　株式會社秀英舍第一工場

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN